



東北大学
TOHOKU UNIVERSITY

H25.9.27 日本医師会館大講堂
大学医学部女子医師支援担当者連絡会議

包括的女性医師支援戦略 —東北大学病院—

東北大学 加齢医学研究所 海老原 孝枝
東北大学病院 福與なおみ

包括的女性医師支援戦略 —東北大学病院—

院内保育園

育児短時間勤務、部分休業制度(常勤)

育児短時間勤務医員制度

CORE

病後児保育



駐車許可証
優遇発行

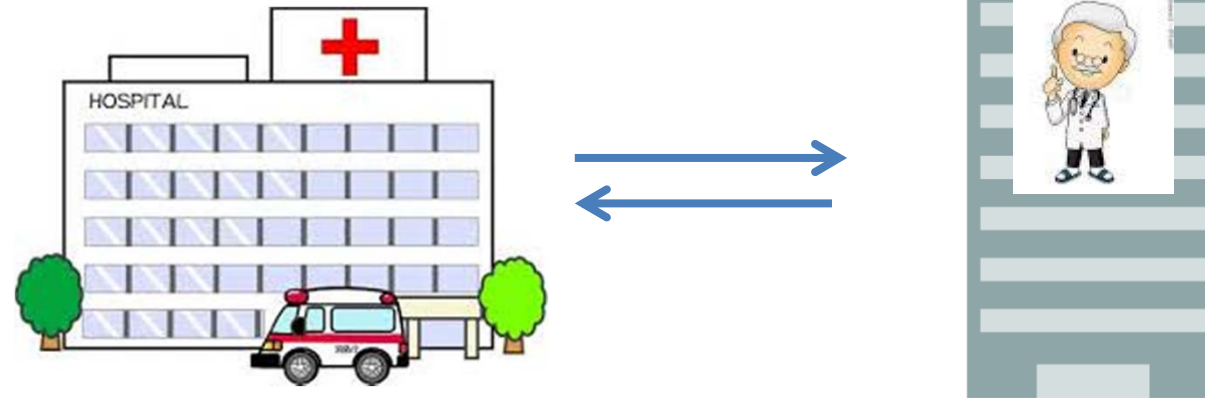


女性休憩室

ホームページ作成

勤務証明書EASY発行

女性医師支援における、 東北大学病院と宮城県医師会女性医師 支援センター



- 県内女性医師向けのホームページ開設
（特に、県内各病院の育児支援状況を網羅）
- 県内開催学会の保育実施と経費の一部援助
- ベビーシッター代の援助



育児時間短縮勤務医員制度

勤務体系新ポジション創設にむけて

- 2005年より、トップダウンで、「子育てにかかわる女性医師のワーキンググループ」を立ち上げ、「離職、退職を防止する」ことを目的としたアンケートを実施。
- アンケート結果より、これまでの女性医師支援の中心であったハード面に加え（保育園、病後児保育など）、ソフト面の対策（特に、勤務の仕方）が必要であるという結果を得る。
- 2006年および2007年に、病院長（副総長）裁量にて、「**特任医員**」のポジションを2名分創設する。

2005年アンケートによる、新しい勤務体系創設 に至った動機・問題点

- 医員(非常勤職員)、研究生に若い医師が多く、妊娠中に契約更新時期がはさまれるとそのまま医員辞職、結果として研究生(学費を払)になり、各種制度が受けられない。
- また、研究生の身分では、学生扱いとなり、保育園の入所も難しい。
- 研究生は、通常の臨床業務や研究業務は課せられ、一方、アルバイト収入に頼っており、給与保障もなく、社会保険制度費用や研究生として所属するための学費の支払いも必要とされ、妊娠中や子育て中の生活ハードルは高く、中断離職を選択する人も増える。



特任医員2名分創設



育児時間短縮勤務医員（H20年度）

特任医員は、この制度に吸収

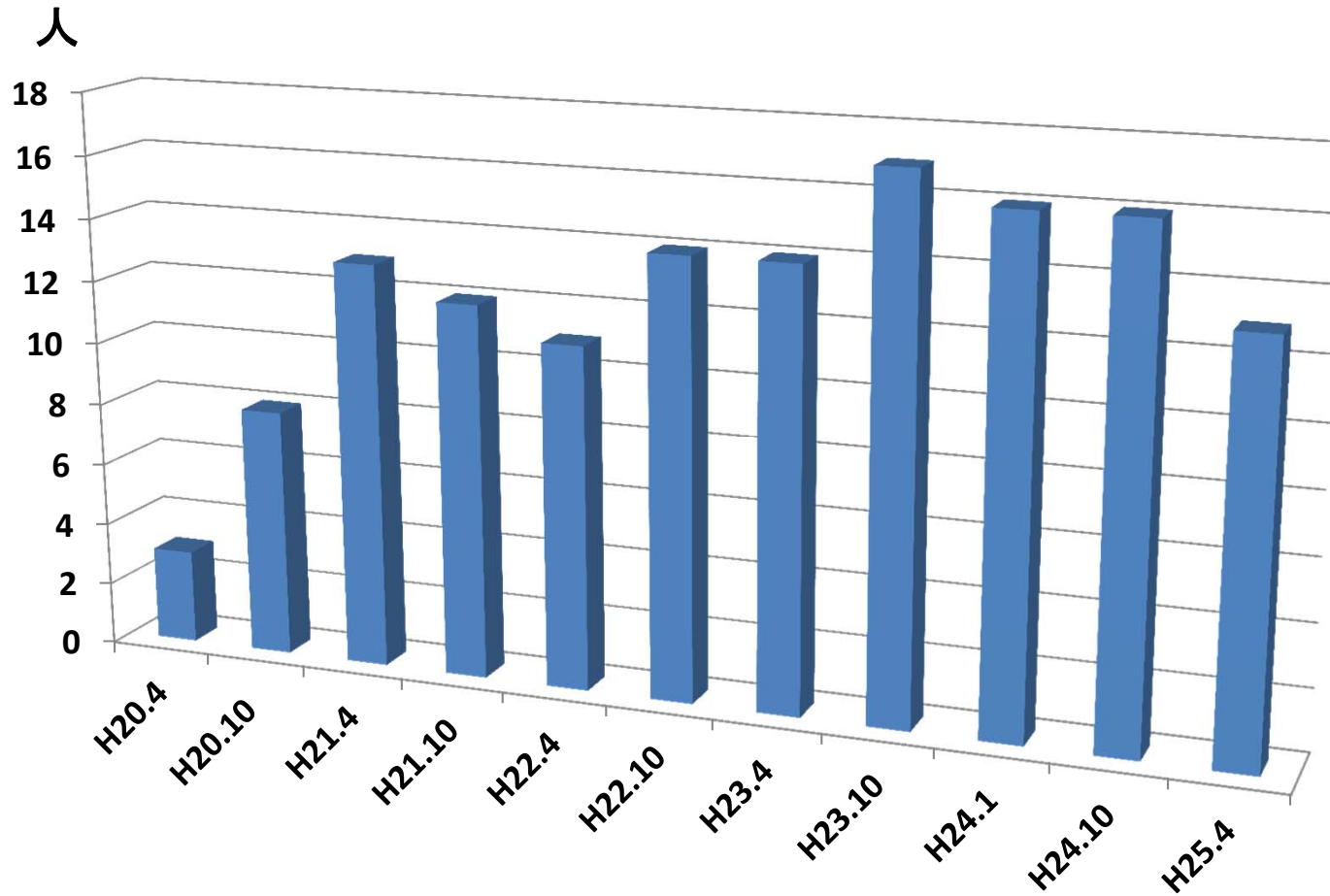
- 身分 医員（時間雇用医員）
- 資格要件 小学校就学の始期に達するまでの子を養育する医師
- 給与 1405円/時（医員の日給11245円/8時間）
- 勤務時間 週30時間上限
- 宿日直勤務 免除願い出たものについては、必ず免除する。
- 超過勤務 制度趣旨を鑑み、超過勤務は原則として命じない。

常勤職員に対しては、前年H19年度より、時間短縮勤務導入施行



東北大学病院

育児時間短縮勤務医員推移





東北大学
TOHOKU UNIVERSITY

Ebihara T. & Fukuyo N.

東北大学病院病後児保育室



東北大学病院病後児保育室ができる まで

東北大学では教室員会（大学病院および医学系研究科の教授を除く教職員および医員、大学院生からなる組織）会員や看護部の要望に応え平成13年2月に「病児保育施設」が開設された。

＜病院が運営母体となるまで＞

開設後5年間は教室員会のボランティアにより運営されたが、平成18年4月より東北大学病院が運営することになった。これを機に保育室の利用規則および業務の見直しを行い、愛称を「**星の子** **ルーム**」とした。

東北大学病院病後児保育室の概要

対象：回復期の生後6ヶ月～小学3年生（かかりつけ医連絡票が必要）

場所：東北大学病院外来棟5階

時間：月曜日～金曜日 7:30～18:00（年末年始を除く）

料金：利用料（昼食・おやつ含む）

2時間未満...1000円

2時間以上4時間未満...2000円

4時間以上...3000円

職員：看護師2名、
保育士2名



食事



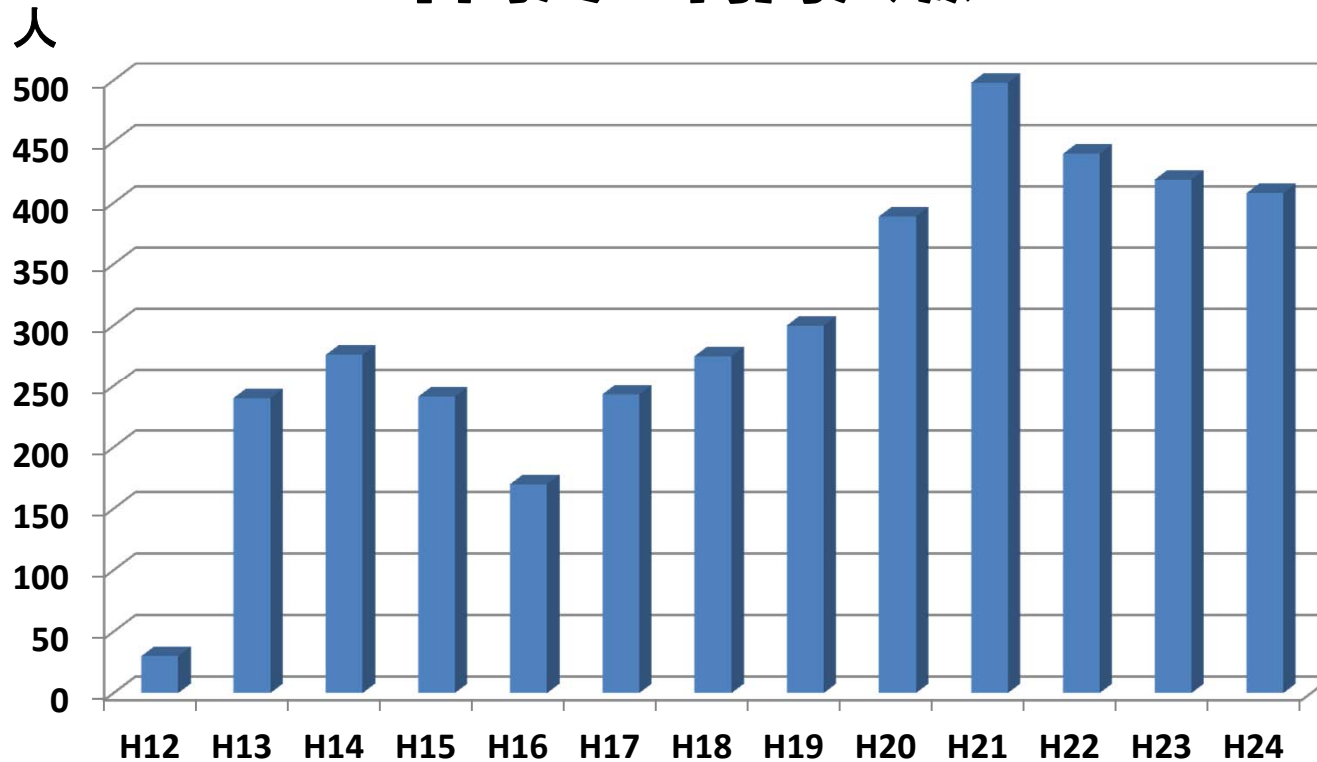
お部屋例

東北大学病院病後児保育室 現在の運営形態に至るまで

- 平成18年、東北大学が文部科学省科学技術振興調費「女性研究者支援モデル育成事業」による「杜の都女性科学者ハードリング支援事業」を開始するにあたり、事業の一環として病後児保育室の拡充が組み込まれた。
- 看護師・保育士の増員、利用対象者の病院地区のみから全学の職員・学生への拡大が行われた。
- さらにその後、利用時間を17時半から18時まで延長し、定員を4名から6名へ拡大してきた。これにより全学の子育て中の職員・学生に広く利用されるようになった。
- その結果、利用者は年々増加している。

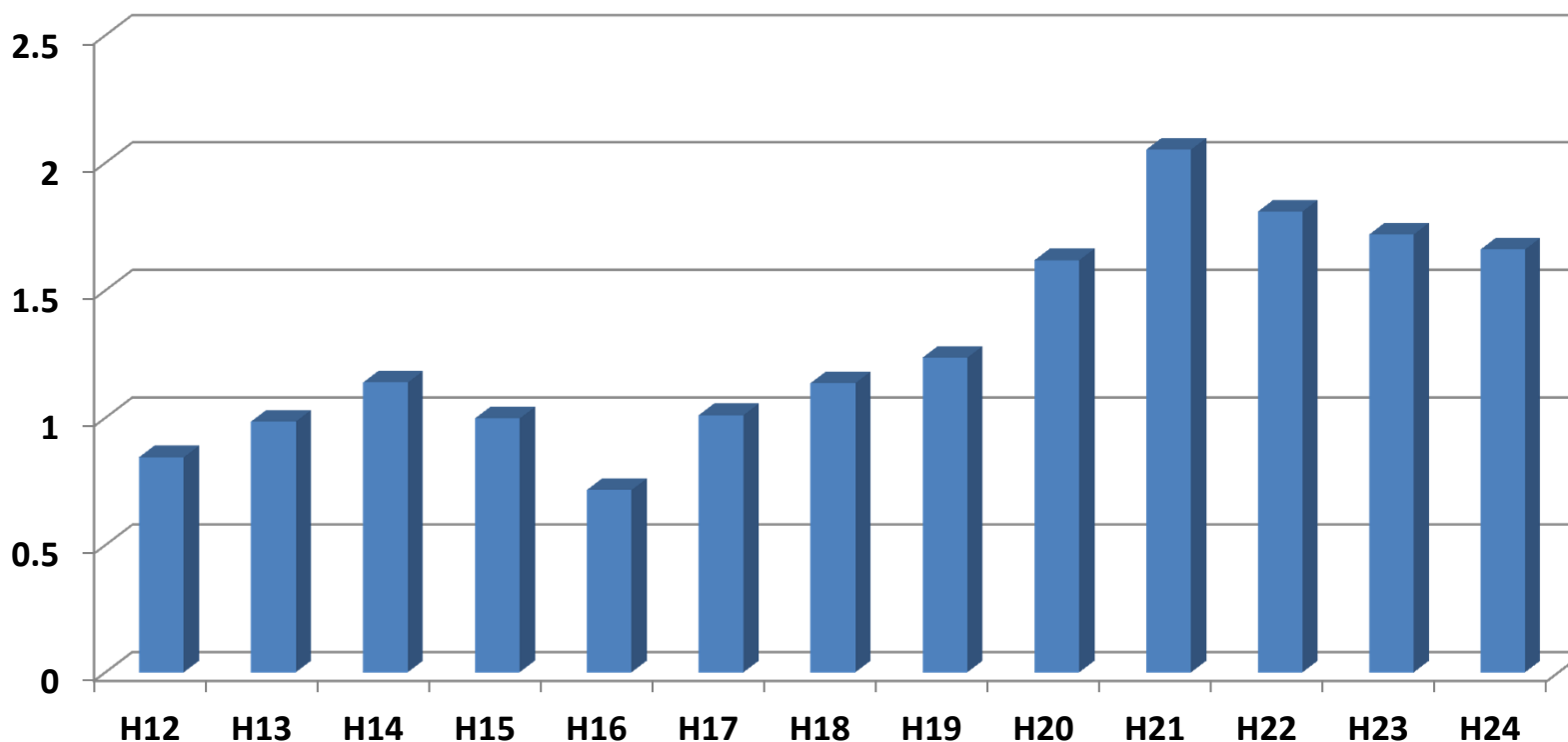


東北大学病院病後児保育室 利用者の推移 年間延べ利用人数



東北大学病後児保育利用状況

日平均利用者数





東北大学病院病後児保育室 さらなる取り組み

- 1) 全国病児病後児保育研究大会
でのポスター発表
- 2) 利用者のアンケート調査 (全学対
応になってから)
- 3) 「星の子だより」の刊行
- 4) 大震災対策の強化 (東日本大
震災を経験して)

星の子だより

第13号 2013年6月発行
東北大学病院病後児保育室
星の子ルーム

定禅寺通りのケヤキ並木の緑がまぶしい季節になりました。
日頃、星の子ルームの利用において、ご理解をいただきありがとうございます。
星の子ルームの保育状況や育児情報が少しでも利用者の方々に役立ててもらえたらという「星の子だより」も、刊行してから今年で5年目を迎えました。いつもご愛読くださりありがとうございます。
利用者の方々に星の子ルームを少しでも活用していただきやすいように、利用方法などにおける問題点に関して、実務者委員会が毎月議論を重ねております。その際、毎年ご協力いただいているアンケート結果はもちろん、毎年スタッフが発表している全国病児保育研究大会で得た全国の病児・病後児保育室の保育状況も、参考にしています。
常に感じるのは、“預かるお子様の安全・安心”と“利用者の利用しやすさ”が必ずしも一致しないことが、病後児保育の難しい点ということです。しかし、“いい保育環境を子どもに与えたい”という気持ちはみな抱いており、星の子ルームはその共通に抱いている気持ちで繋がっているのだと思います。
どうか、これからも星の子ルームの利用においてご理解をいただけると幸いです。

(東北大学教員会福祉厚生部書記・病後児保育実務者委員会 福奥なおみ)



ほいくしつのような



ミルクっておいしいね



なにができるかな？
シールってたのしい！



ばっくちもぐもぐ
おいしいよ

お知らせ～New～

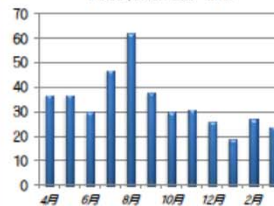
5月から、翌日の利用可能人数を留守番電話のメッセージでお知らせしています。
星の子ルームのご利用に際して、ぜひお役立てください。



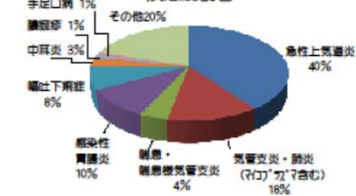
昨年度の利用状況

星の子ルームでの、平成24年度の利用状況をお知らせします。
1年間の利用総数は408名で、1日平均1.66名となっています。1日の最高利用人数は5名でした。
昨年度は夏の利用者が多く冬は少ない傾向がみられました。(グラフ1) 夏の利用者が多かった理由として、アデノウイルス感染症や手足口病、ヘルパンギーナに加えて、昨年度はマイコプラズマ肺炎が全国的に流行し、その利用者が多かったことが挙げられます。疾患別の割合をみると、呼吸器疾患が全体の6割以上を占めており、また季節を問わず感染性胃腸炎や嘔吐下痢症などの消化器症状で利用するお子さんが多くみられたことも昨年度の特徴のひとつでした。(グラフ2)

グラフ1 月別利用人数(人)



グラフ2 疾患別割合



スタッフの紹介

渡邊晶子(保育士)
新たくさん抱っこしても何かの瞬間にびたっと泣き止んで遊びだす姿をみると、子どもはたくましいなあと感じています。そんな小さな子どもたちをこれからも見守ってまいります。

松田ひとみ(保育士)
大学生の娘と高校生の息子がいます。小さい時は勝をだしやすい二人でした。皆さんの大変さがよくわかります。子供が手を離れ、私は今、ダイエットのためジムに通っています。



渡邊 松田 遠藤 石壁

石壁久仁子(看護師)
私の3人の息子(高2中2小5)も星の子ルームにお世話になり、大きくなりました。お子様が早く回復できるようサポートしたいと思います。

遠藤典子(看護師)
小学生の息子がいます。その息子も突然の熱で仕事を休まなければならなかったことが何度もありました。この経験から、みなさんの手助けができればと考えています。



○予約・問い合わせ 022(717)7819 ○メールアドレス hoshinoko@bureau.tohoku.ac.jp
○ホームページ <http://www.morihime.tohoku.ac.jp/hurdling/hoshi.html>

病後児保育室 震災対策の強化～震災直後の実際～

当施設の設置背景：耐震補強を施された鉄筋コンクリート造り5階建て建物の最上階

震災時の状況：揺れが激しく、立っていることすらできず、保育室スタッフは保育室の中央に集まり、身を守った。

震災時の保育状況：幸いなことにこの日は予約のキャンセルが入り、預かっている児はいなかった。

震災時の保育室の状況：保育室内の家具は固定されていたため倒れなかったものの、棚の本やおもちゃ類は棚から落ちて散乱し、前室の書庫、ロッカーなどは壁の固定が外れ、非常口は塞がれた。すぐに停電になったため、保育室から出て、階段を使って建物外へ避難した。

復旧過程

○保育・・・3月15日(火)～ ※14日は片付けのため休室

○ライフライン

《電気》翌日には復旧したが、漏電の危険があるため照明、電気ポットのみ使用。

《暖房設備》停止。1週間後に床暖房使用可。電気ストーブを借りて対応。

《給湯設備》停止。電気ポットで対応。

《給食》4月上旬まで主食(おにぎり)のみで対応。



病後児保育室 防災対策：震災対策の強化

本震後、保育スタッフは直ちに以下の見直しを行い、余震や避難訓練の際に実行した。

1. 病後児保育室災害マニュアル《地震が発生したら》
2. 室内環境
 - ・棚等を低く設置
 - ・保育に必要な備品の再点検（使用頻度の少ないもの、不必要なものは倉庫に移動）
 - ・危険な落下物の再点検
 - ・書類棚、冷蔵庫、ロッカーの再固定
3. 室内の待機場所の設定（揺れがおさまるまで）
4. 避難口周辺の整備（ドアを開放するためのストッパー設置、ドア周辺物品の除去）
5. 地震、火災を想定した避難訓練の実施（1か月に1回実施、訓練後の反省会）
6. 災害時の避難場所の利用者への周知方法・内容の確認（HP、機関誌「星の子だより」、朝の受け入れ時）



東北大学病院院内保育室





東北大学病院院内保育室の概要 (H22年3月)

定員 25名 保育日 年末年始の休日を除く毎日

保育時間

＜常時保育＞（基本）7:30～18:30（延長）18:30～20:30（土・日曜日・祝日を除く。）

＜終夜保育＞ 18:30～翌7:30（週2回（月・木）実施） ＜一時保育＞ 8:00～17:30

入所資格

＜常時保育＞東北大学病院、大学院医学系研究科、大学院歯学研究科、加齢医学研究所及びメディカル・メガバンク機構の教職員、大学院学生等（以下「星陵地区職員等」という。）が教養する乳幼児（生後2ヶ月から小学校就学前まで）。

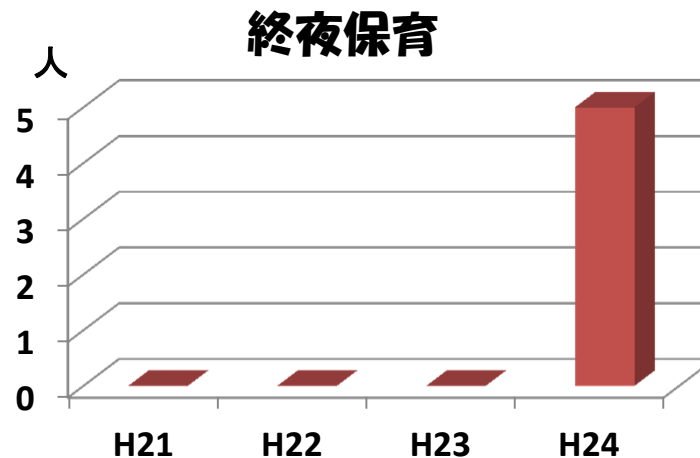
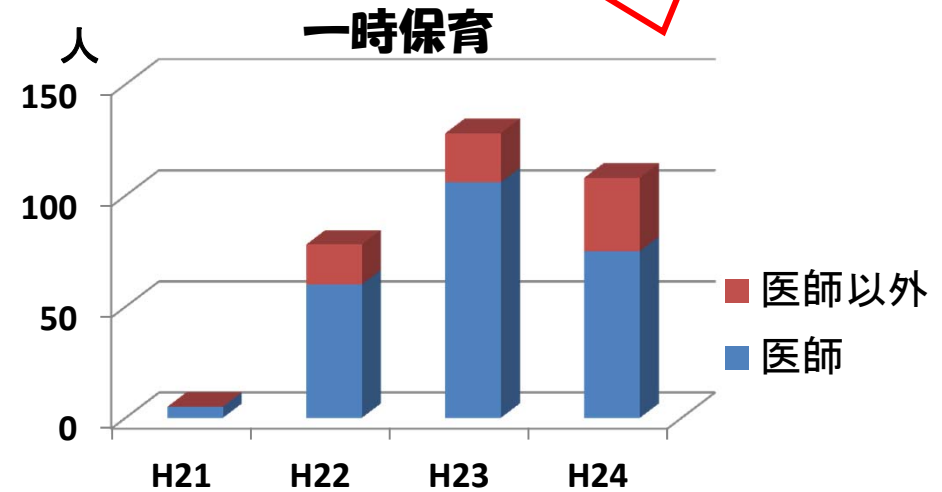
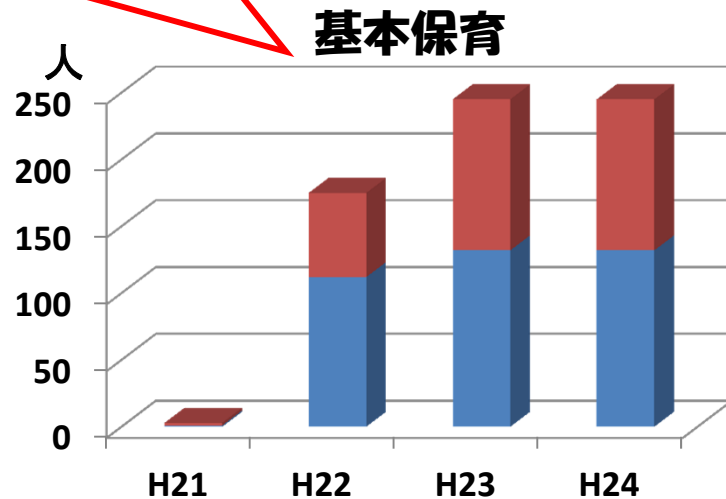
＜終夜保育＞原則として基本保育に登録している乳幼児で、予約制。急な要請による夜間勤務又は終夜保育が必要となる事情が発生した場合は、原則に従わない。

＜一時保育＞星陵地区職員等が家庭又は他の保育所等で保育をしているが緊急一時的に保育が必要になった場合は、可能な限り受け付ける。

東北大学病院院内保育室の年間利用者推移

利用者数は年々増加、医師と
医師以外の利用率がほぼ同数

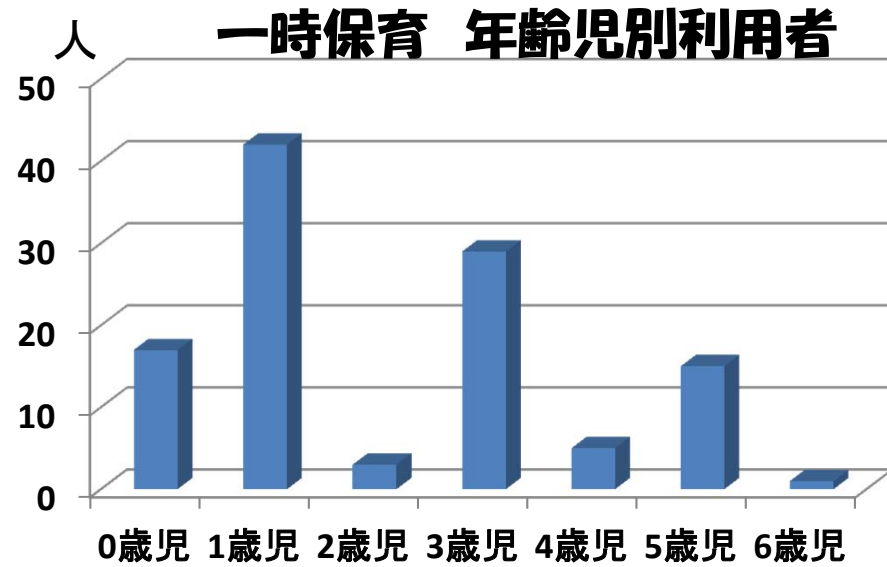
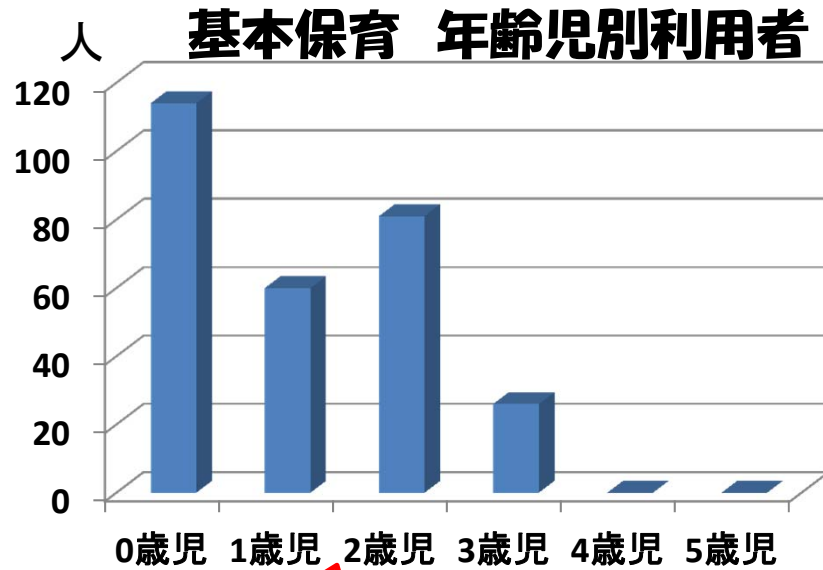
医師は一時保育の
利用率が高い



医師は終夜保育を
利用しない

保育委託企業
サクセスアカデミー

東北大学病院院内保育室 基本保育と一時保育



基本保育の
ニーズは
0歳児が高い



一時保育は、
各年齢層
でニーズがある

東北大学病院における女性医師支援の歴史

- S45年9月 ことりの家(院外保育園;当時の女性医師先達の活動により
病院女性勤務者のために寄付とボランティアで作る
→S46年11月東北大学に管理運営
→S63年大学が管理運営から撤退、法人化、一般に開放)
- H13年2月 病後児保育室開設(当時はボランティア)
- H14年9月 東北大学男女共同参画宣言(阿部総長)
- H15年 東北大学男女共同参画奨励賞(沢柳賞)設立
- H17年7月 「子育てにかかわる女性医師の会」病院ワーキンググループ
- H18年4月 病後児保育室病院運営
文部科学省「杜の都女性科学者ハードリング事業」採択
「特任医員」制度開始
- H19年4月 育児休業制度(短時間勤務&部分休業制度拡大)
→全学・常勤対象
- H20年4月 育児時間短縮勤務医員制度施行開始
→病院・非常勤対象
- H22年3月 院内保育室(星の子ルーム)開設



東北大学男女共同参画奨励賞（**沢柳賞**）

東北大学の理念である「門戸開放」の方針を打ち出した初代東北大学総長、沢柳政太郎氏に因んでおり、この方針のもとに、東北大学は、1913年（大正2年）に全国に先掛けて女性に帝国大学の門戸開放を行った伝統に基づいて、平成15年に設置された学内表彰。

- H15年度 活動部門

星陵地区における病児保育施設の運営について

星陵地区病児保育施設運営委員会

委員長 根本 建二

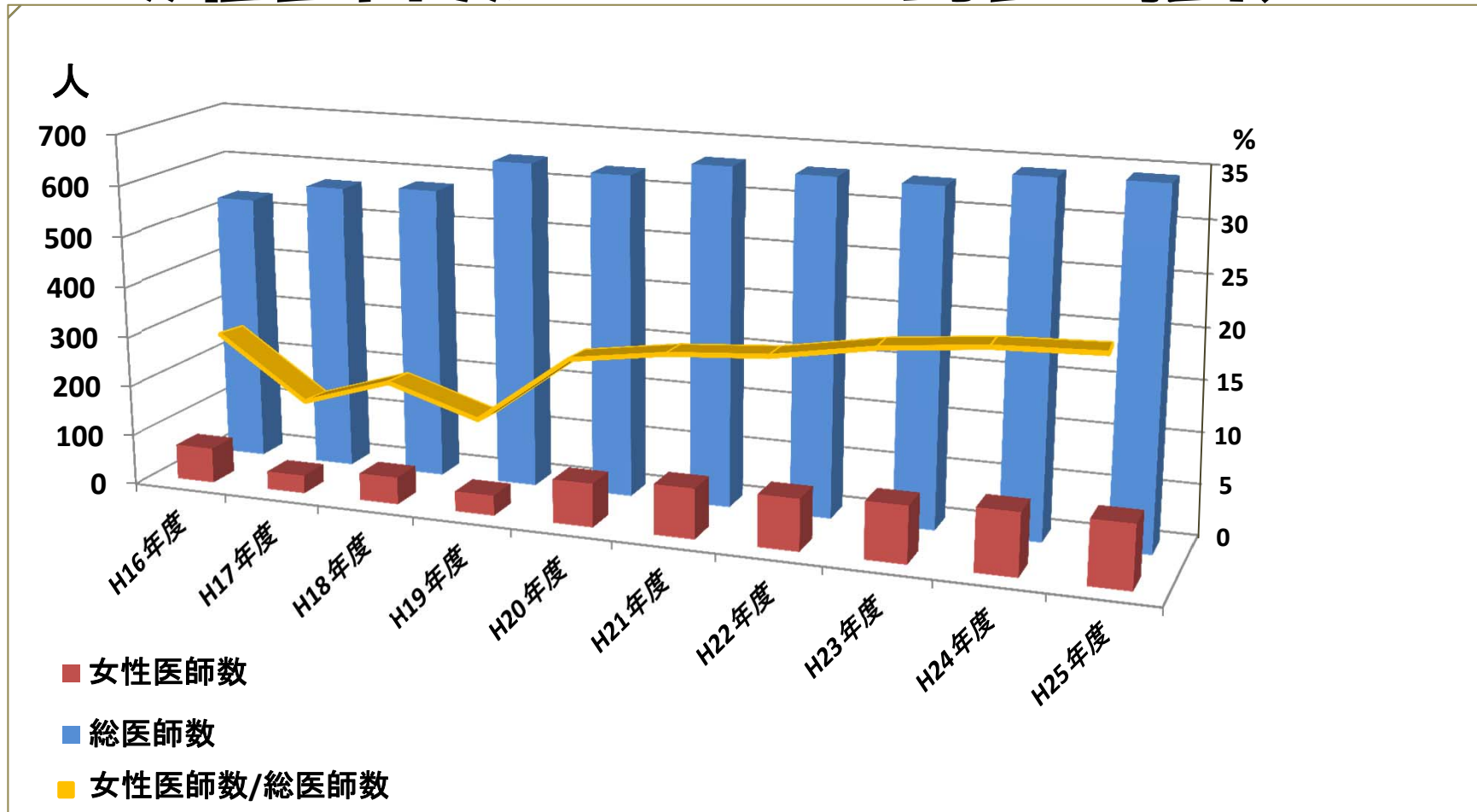
- H19年度 活動部門

子育てに関わる女性医師のテラーメイド勤務体系確立の試み

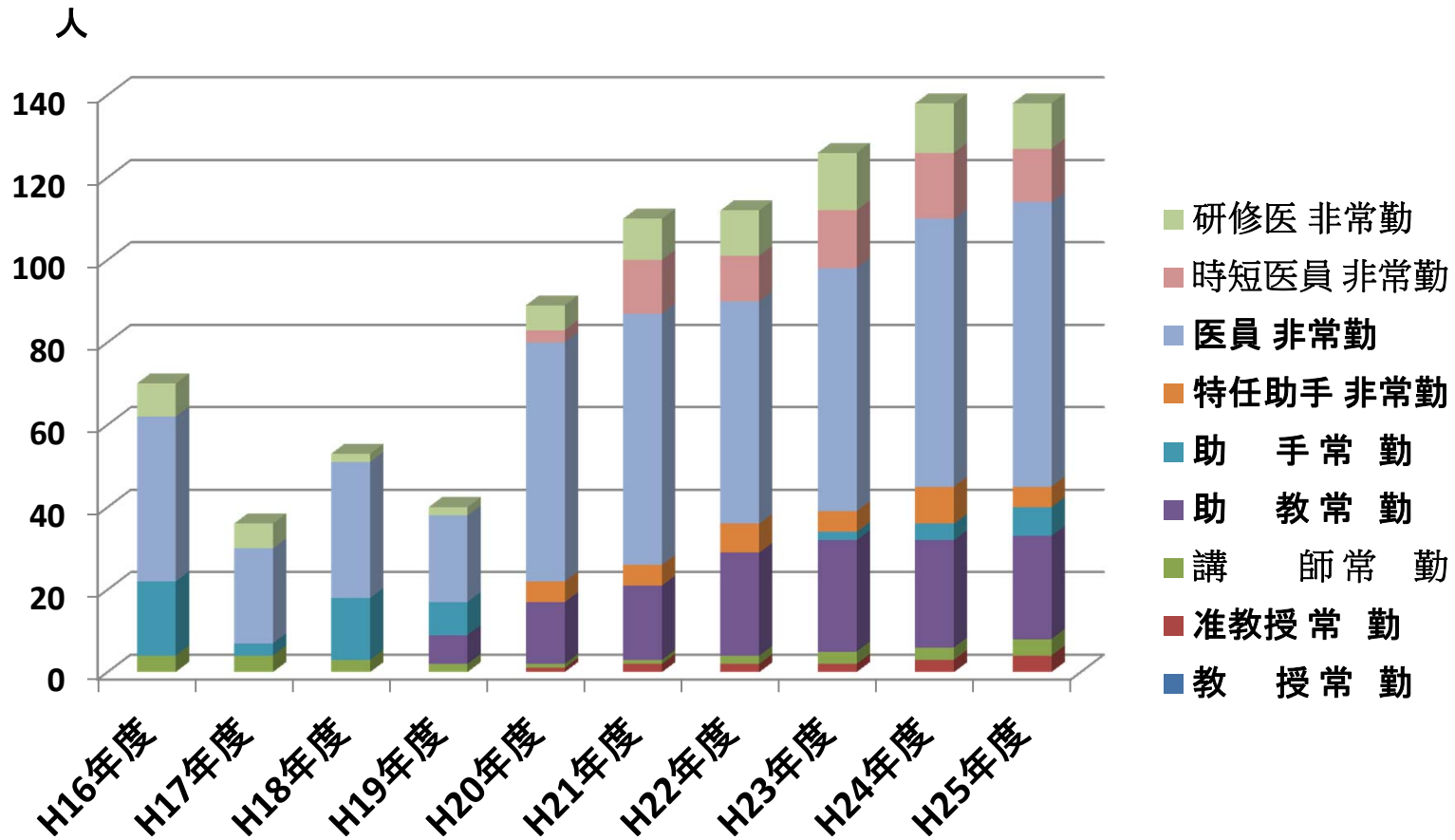
病院「子育てに関わる女性医師の会」WG

代表 海老原 孝枝

東北大学病院における総医師数、 女性医師数およびその割合の推移



東北大学病院の女性医師数 (病院、医学系研究科、寄付講座、加齢医学研究所)



まとめ

- これまでの女性医師先達が築いてきた女性医師支援の素地に加え、時代変化も追い風となり、女性医師を取り巻く包括的女性医師支援環境整備は、一定の成果を上げてきたと思われる。
- しかし、臨床部門における女性医師管理職の存在はまだまだ希少である。
- これまで就学時前子供に焦点を当てた策が多かったが、実際には、就学時の退職者も多い。
- 今後の問題点は、例えば小学3年までの児童を持つ場合にまで様々な制度を拡充することが必要と考える。
- そしてこれらの制度は、高齢化社会を迎えた今、ある程度「介護」への応用拡充も必要になるかもしれない。



最後に

- これまでの礎を築いてくださった先輩の女性医師の方々、また、これらを理解しご協力いただきました東北大学病院長、宮城県医師会、宮城県女医会、宮城県女性医師支援センター、東北大学病院教室委員会、東北大学病院事務人事掛に深く御礼を申し上げます。